

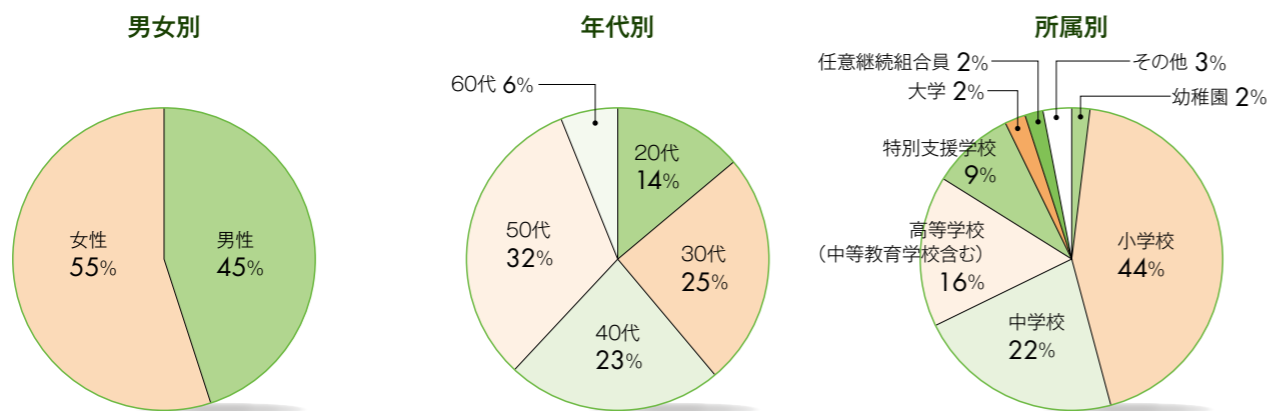
【福利厚生事業に関するアンケート調査結果】

福利厚生事業について、組合員の皆様のご意見をいただきました

公立学校共済組合東京支部では、今後の福利厚生事業の一層の充実を図るため、平成26年5月、組合員の中から2,000人を無作為に抽出し、アンケート調査を実施しました。

その結果1,008人の方から回答をいただきました。集計結果をお知らせします。

回答者(1,008名)の内訳



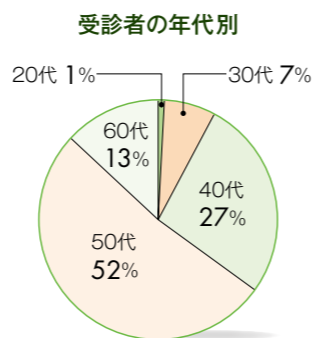
人間ドックについて

共済組合で実施している人間ドック事業の利用状況を聞いたところ、その結果、「受診したことがない」が63%でした。受診したことがない方の理由では、下のグラフにある理由のほか、「時間がない、忙しい、若年層では「まだ受診する必要性を感じない」というものが多数ありました。

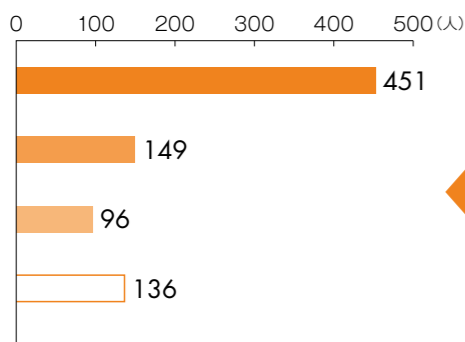
受診したことがある方の年代別内訳では、50代が52%で最も多く、次いで40代が27%で40代及び50代で約8割でした。

受診した理由として、「定期健康診断より検査項目が多いから」「検査項目によっては精密な検査があるから」などの回答がありました。

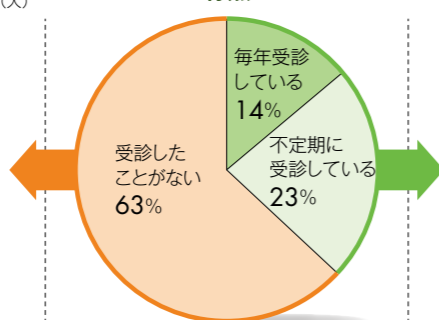
また、人間ドック受診時に受診したいオプション検査は、男性が「脳」「大腸がん」「肺」、女性が「女性健診」「脳」「大腸がん」の順でした。



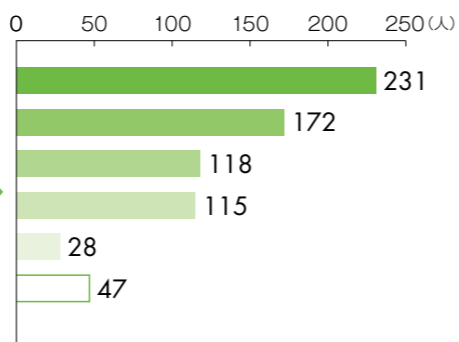
人間ドックを受診したことがない理由(複数回答可)



人間ドック受診の有無



人間ドックを受診した理由(複数回答可)



- 職場の定期健康診断を受診しているから
- 自己負担額が高いから
- 予約等の手続きが煩雑だから
- その他

- 定期健康診断より検査項目が多いから
- 検査項目によっては精密な検査があるから
- 時間を気にせず受診できるから
- オプション検査を受診できるから
- 定期健康診断が受診できなかったから
- その他

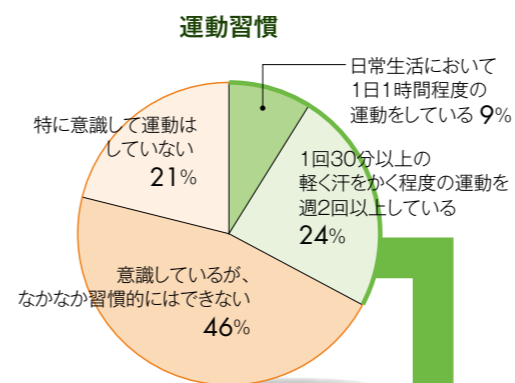
健康づくりに対する意識について

運動習慣について聞いたところ、回答者のうち、67.4%の方に運動習慣がありませんでした。

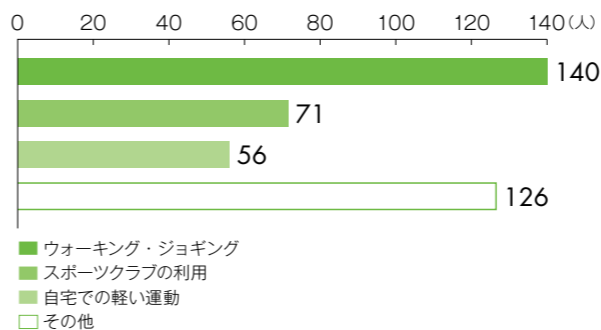
運動習慣がある方が現在している運動は、「ウォーキング・ジョギング」が最も多く、次いで「スポーツクラブの利用」でした。

運動以外で、健康づくりのために意識していることは、「食事」「睡眠」が多く、「ストレスをためない」「半身浴」などがありました。

また、健康に関し、運動以外に興味があるテーマは、「疾病予防対策」「より良い睡眠」「メンタルヘルス」の順でした。



運動習慣がある方で「どのような運動をしていますか」の回答(複数回答可)

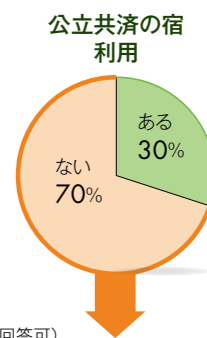


アンケートの結果では、運動への意識はあってもなかなか習慣的にはできない方が多いことがわかりました。また、日程が限定されない事業の方が利用しやすいことがわかりました。皆様からいただいたご意見を参考に今後の事業を検討していきたいと考えています。ご回答いただいた組合員の方々、ご協力ありがとうございました。

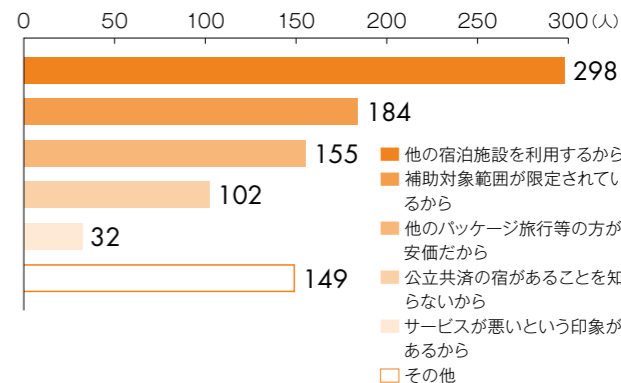
公立学校共済の宿 利用補助について

公立共済の宿を利用したことがある方は、回答者のうち30%でした。

利用したことがないと答えた方の理由は「他の宿泊施設を利用するから」「補助対象範囲が組合員及び被扶養者に限定されているから」「他のパッケージ旅行等の方が安価だから」の順でした。



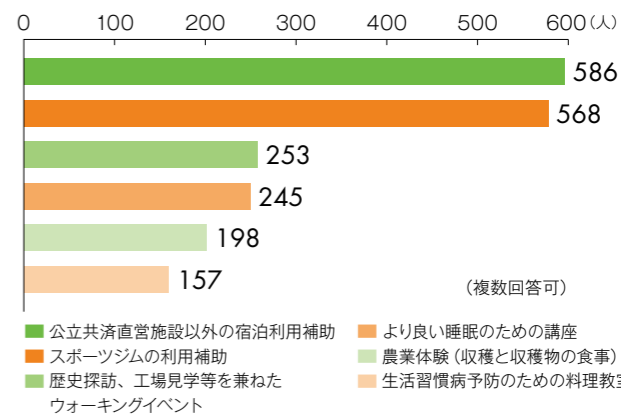
公立共済の宿を利用しない理由(複数回答可)



公立学校共済組合東京支部に実施してほしい福利厚生事業について

今後、実施してほしい福利厚生事業は、「公立共済直営施設以外の宿泊利用補助」が最も多く、次いで「スポーツジムの利用補助」「歴史探訪、工場見学等を兼ねたウォーキングイベント」「より良い睡眠のための講座」となりました。

また、「日帰り温泉施設の利用補助」等の要望もありました。



問合せ先 福利厚生課厚生係 03-5320-6821